



## 巻頭言



## ～ 花 ～

副会長 服部祐治

緑の草木が香り桜が咲く季節、多くの新人が職場の各部署へと配置される。

いつの時代でも、すでに働いている者にとって新入職員が入ってくる季節は、なにとはなく胸がわくわくする時期でもある。

未知なる世界へ意を決して飛び込み、これから働く職場で右も左もわからず、一人では何も出来ず、先輩から教わったり叩かれたり、周りの助けに支えられて仕事を覚え育っていかなくてはならない。第1の人生、第2の人生、年齢に関係なく何かを新しく始める事は新人と一緒にであろう。

以前、テレビで宮大工の西岡棟梁の話を紹介していたが、まず新弟子にさせる事は、道具を使いこなす為に、道具の砥ぎ（刃を砥ぐ事）を徹底的に修練させる事であった。

刃の仕上がりを見れば、どの程度の技術の持ち主かがわかると言い、何年も一緒に仕事をしている弟子にも、あまり物も言わずカンナの削りくずを見せ、これがカンナだと一言しか言わない師匠であった。今はもう没し、その弟子が棟梁になった今、師匠と同じ事をしている自分があるという。弟子が覚えるまでじっと我慢をし、何をしなければいけないかという道だけを示し、後は弟子の努力次第であると言いきる。

平成14年度は当技師会の会長改選の年であるが、3期6年の間、会長の重責を担ってきた新倉会長が、辞する時が来たと理事会で発表され、両副会長に次期の会長職をお願いしたが、双方とも即答できずに三役会へ持ち越しとなってしまった。

新会長に任命され責務に付く方も新人であり、そして不安を抱えての船出である。周りの方々の協力が最も必要とされる時期であり、助力を乞われたときは気持ちよく引き受けてあげたい。新人にあまり多くの期待と責務を負わず、大輪の花を咲かせられるように見守り、やりたい事をやれるように応援していかなければならないと思う。

新会長になられる方に、大輪の花を咲かせて頂けるよう、沖縄の歌である花を贈りたい。

川は流れて どどこ行くの  
人も流れて どどこ行くの  
そんな流れがつく頃には  
花として花として咲かせてあげたい  
泣きなさい 笑いなさい  
いつの日か いつの日か  
花をさかそうよ

新会長の誕生を楽しみに待ちたいものである。

## 特集「医師とのコミュニケーションの在り方」



北部共済ではこんなことやってますよお。

横須賀北部共済病院

濱田 順爾

他部署との交流、とはいっても少々限られてしまうのですが、...

おそらくこの病院の放射線科に行っても、大抵男所帯なもんで、検査科やら薬局やら事務員の男どもが居候化して住み着いていることと思います。(んにゃ、ウチだけかな?)ご多分に漏れず当院でもそうなのですが、おまけに当院放射線科なんて、イチパン下っ端の私ですら41才、なんていう高齢化した職場なモンだからたちが悪い。ウチの居候どもは私とそんなに年の変わらないおじさんばかり。もっとピチピチした若いヤツが来てくれないもんかのう!

おじさんの集まりと云えば、やはり「飲む」、「打つ」、「買う」ですかね。まあ、「買う」は殆ど無いけど、「飲む」、「打つ」ならまかり通るわな。では、今回は「飲む」について語ってみましょうか。

おじさんの飲む場所はやはり通勤途中の居酒屋と相成ります。先だっの合同勉強会の折には、当院近くの居酒屋で大宴会を行ったのですが、行き先はそこともう一軒くらいでしょうか。そう、船越・田浦界限(当院の所在を表す地名)には、あんまり店が無いのですよ。あの時の宴会の店「花道」は、ママさんやマスターも気さくで味があるけど、極々普通の居酒屋でしたよね。で、お話ししたいのがもう一軒の店なんです。

ちょっと残業で遅くなり、お疲れ&酔いたいモードになってしまった時には、やっぱおじさんは飲みに行かないとストレスが発散出来ないんですよ。で、居候ども含めて2~3人揃うと、「じゃっ、

屋でも行くか!」となる訳なんです。京急田浦の改札脇に1軒のカウンターそば屋があったのが分かるでしょうか。そう、実はそこが我々自慢の店なんです。そば屋で一杯やって帰るなんて、オツでしょう~!このそば屋で飲めるのが、「そば焼酎のそば湯割り」というメニューなんですわ。こっれがイケルのよねえ~。そば湯の口当たりのよさで、何杯でもいけちゃうんですよ。おまけに酔いがまわるのも早い。つつい飲みすぎちゃって、たまに事件もあるんですけどね。ちなみに私はこれを飲みすぎて翌日のゴルフをふいにしたことがあります。また、先日なんて珍しく当院の若くてピチピチした女性を帰り道にGETしちゃったもんで、あるKさんなんか、つつい飲みすぎちゃってベロベロになっちゃいまして、翌日遅刻してました。それでも止められませんが。はは。美味しくて、つつい飲みすぎちゃう、そば屋「吾妻庵」の「そば湯割り」。この店つまみが出るのがチト遅いのがタマニキズなんです、是非一度お試しあれ。

ん?なんかお店紹介みたいになってしまいましたね。でも、言ってみればそば湯がとりもつ他部署との交流ということで、まとめさせていただきます。ども。

特集「医師とのコミュニケーションの在り方」

ん！年後の PACS を目指して！

横須賀市立市民病院

柳澤 正和



当院では、平成 15 年度救急棟改修工事および RI 棟増設工事が予定されています。救急棟施設及び機器の更新に合わせて東棟の PACS 化 RI 棟増設にあわせて MRI の更新および RI 棟の PACS を検討しています。

発端は、救急部会で、『今度は半切のシャーカステンを設置してくれよ！』エッ救急棟は各診察室に画像観察用のモニタを置いて外科系、内科系、研修医等が同時に観察出来るシステムにしたいと思っています。イネエでいくらかかるの？ウン ピンキリです。それでは、話にならないね。でも放射線科では機器の設置に関しては多かれ少なかれネットワークをしますから？その延長線で可能な範囲で進めたいと思います。

カルテの開示、(見やすい活字が記載されている事)セカンドオピニオン、インフォームドコンセプト(説明用資料が画像付で出来る)医療過誤(複数の医師が観察出来る)等の追い風が吹いています。ただ首を立てて振らないのは、単独で予算計上したらと言う金の話である。

### 画像診断システムのデモを開催



病院として進めて欲しい  
循環器系医師



画像も良いと評する  
脳外科医師

寄稿・投稿

## DICOM 今昔物語

シーメンス旭メディテック株式会社

メディカル・ソリューション・マーケティング本部

HS グループ森周平

初めて「ダイコム」という「言葉」を耳にしたのは、何年前だったろう？

今から 10 年程前に、当時米国の電気製造業の工業会に関連のあった外国人から「その音」を聴いた記憶が微かに残っている。

確か、自社の MR 装置と他社の装置のデータ接続をするというプランについて議論をしていた夕暮れの会議室でのことだった。

その頃は、画像撮像装置から画像保存装置や画像処理装置に画像データを送信するときの経路として、コンピュータとモニタやプリンタなどの周辺機器を接続するために使われる接続線を利用することが主流であり、現在のようなネットワーク (Ethernet など) 接続はあまり用いられていなかった。

このような接続は常に一対一であることから、接続の都度、新たなソフトウェア開発が必要になり、お金も時間も無駄に費やされていた。そんな厄介な状況に困惑していた者にとって、「ダイコム」は福音以外のなにものでもなかった。

CT装置の実用化がスタートした 1970 年代以降、MR 装置の臨床現場への応用、PACS (Picture Archiving and Communication System) の試みなど、医療画像のデジタル化は急激に進んだ。

もともと画像のデジタル化は画質や撮像効率の向上が目的とされてきたが、三次元処理を始め

とする画像処理や画像保存についてもデジタル化のメリットが期待されるようになってきた。

当然、撮像装置ベンダーも処理装置や保存装置を供給しているケースもあったが、異なるベンダーの装置で処理や保存を行いたい要求も増えていた。

しかし、当初は撮像装置から処理・保存装置へのデータ接続には二つの壁が存在していた。

その壁のひとつめは、画像データの形式だった。

データの形式は各ベンダーによって異なり、さらに形式自体が各ベンダーの内部情報となっていたため、データのやり取りをするためには、ベンダー間で守秘義務契約を交わしたうえで形式に関する内部情報を開示し、形式変換のソフトウェア開発を行うことが必要であつた。

こうしたなか、米国において北米放射線学会 (ACR : American College of Radiology) と電機製造業の工業会 (NEMA : National Electrical Manufacturers Association) が共同して、医療における画像データの形式についての標準化を目的に、1983 年に ACR NEMA 委員会を立ち上げた。

この委員会メンバーの尽力により、2 年後の 1985 年には最初の画像データの形式に関するスタンダード ACR NEMA Ver .1 規格が生まれた。

この規格を使うことで、異なるベンダー間でもデータ形式についての接続性を確保すること

ができるようになったわけである。

これだけでも、医療画像データの有効利用にはかなりの利便性もたらされたのだが、データ接続のためにはデータ形式の統一だけでは不足であり、データ通信のための手順も規格化する必要があると議論されるように至った。

この通信手順がふたつめの壁だったわけである。

とりあえず 対 の装置間の通信手順が検討されスタンダードとなつたのが 1988 年に発表された ACR NEMA Ver .2 と呼ばれるものであった。

しかし時代はすでにインターネットの台頭期を迎えており、ネットワークによる複数対複数の通信が当然となっていたため、一対一の通信は時代遅れの方法とされ、この規格による通信手順はほとんど使われなかったといえる。

そこで、ACR NEMA 委員会はネットワーク上での通信手順の規格化の検討を始めた。このスタンダードが、データ形式は ACR NEMA Ver . 2 規格をベースとしつつ、通信手順の標準化を含めた「ダイコム」(DICOM) 規格である。

“ DICOM ” とは、“ Digital Imaging and Communications in Medicine ” のそれぞれ頭文字をとったもので、一般的に日本では「医療におけるデジタル画像と通信」と訳されている。ちなみに、“ DICOM3.0 ” と呼ばれることもあるが、ACR NEMA Ver . 1 および Ver . 2 という経緯からの名残りであり、いわゆる “ DICOM ” とまったく同一のものである。

1992 年には DICOM 規格の暫定版が作成され、宣伝、普及のためにシカゴで行われた北米

放射線学会 ( RSNA : Radiological Society of North America ) の InfoRAD で暫定版を利用した異なるベンダー間の接続のデモンストレーションが行われた。

そして 1 年後の 1993 年には、正式に DICOM 規格としてパート 1 より 9 が発行されたのである。

パート 1 は概論、2 が適合性となつており具体的な通信手順およびデータ形式についての規定は 3 から 8 までとなっている。

それぞれのパートで何が記されているかを簡単に表すと、3 では扱うデータの種類、4 はデータ接続の各種機能、5 でデータの構造、6 がデータの名前や意味をまとめたデータ辞書、7 では実際の電文の交換方法、8 でネットワーク手順ということになる。

パート 9 はというと、ACR NEMA Ver . 2 で規格化された一対 の通信を使用する方法が規定されているのだが、これは単に規格として前バージョン ( ACR NEMA Ver . 2 ) との整合性を保つだけのためのものであったため、実際に使われることはなく現在は規格から外されている。

もう少し DICOM の規格自体を詳しく見てみよう。

DICOM の中で「つぼ」といえるのは、パートでいうと 3 と 4 になる。

3 では「何」を、4 では「どうする」のかが規定されているのだが、「何」という中身は CT や MR といった画像データを、「どうする」つまり、送受信するのか、データ検索するのか、フィルミングするのかといったことが決められている。

DICOM では「何」というのを「オブジェクト」と表現し、「どうする」というのを「サービス」と呼んでいる。

多くの日本人は、「サービス」というと「奉仕する」というようなイメージを抱いてしまうが、DICOM でいうところの「サービス」は、単に機能とか動作といったような意味合いである。たとえば A 社の CT 装置から、B 社の画像処理装置に画像データを送信する場合、「何」というのは「CT 画像オブジェクト」であり、「どうする」というのは「ストレージサービス」となる。さらに、「サービス」には「する側」と「される側」が存在することから、DICOM ではそれぞれのサービスについて「する側」をサービスクラスプロバイダー（SCP：Service Class Provider）、「される側」をサービスクラスユーザー（SCU：Service Class User）としている。CT 装置から画像処理装置に画像データを送信するケースでは、CT 装置がストレージサービスクラス（Storage Service Class）の SCU、画像処理装置が Storage Service Class の SCP ということになる。

ストレージというのは「保存」という意味であるから、「保存」というサービスを「する側」が受信側であり、SCP と呼ばれるのである。その他、データ検索にはクエリー・リトリブサービスクラス（Query / Retrieve Service Class、Q/R と略される場合もある）、フィルミンングにはプリントサービスクラス（Print Service Class）が用いられる。

画像処理装置から画像サーバにデータ検索をかける場合は、処理装置が Query / Retrieve Service の SCU、サーバが Query/Retrieve Service の SCP となり、CT 装置からレーザー

イメージャーにフィルミンングする場合は、CT 装置が Print Service Class の SCU、レーザーイメージャーが Print Service Class の SCP ということになる。

1993 年の DICOM 規格（パート 1 より 9）発行ののち、国内では「ダイコム」という言葉だけが独り歩きしていた時期がある。

とくに装置間のデータ接続に苦労を重ねてきた人たちは、まだ得体の知れぬ「ダイコム」に過大な期待をかけ、「ダイコム」はすべてを解決するといった幻想を抱いてしまっていたのである。

「DICOM 万能主義」とでもいえば良いのだろうか。

DICOM 規格書は膨大な量の文書である。具体的な内容が記されているパート 3 から 8 だけでも、そのページ数は 1, 132 ページにもものぼる。

これだけ広範な規格であるから、すべての範囲をカバーする「DICOM 対応」装置というのはいり得ず、一般的に規格の一部をサポートしているだけで「DICOM 対応」と称されている。このことが「DICOM 万能主義者」たちを、不幸に陥れたのである。

つまり、「DICOM 対応装置」を二つ買い入れて接続してみたが、うまく繋がらないということが起こったのである。

二つの「DICOM 対応装置」がサポートしている DICOM 規格の範囲が一致していなければ、接続できないことがある。

この二つの装置を、CR 装置と画像処理装置と想定してみよう。

CR 装置から画像処理装置に画像を送信しようとするとき、CR 装置は Storage Service Class の SCU を、画像処理装置は Storage Service Class の SCP をサポートしている必要がある。

どちらの装置もそれぞれ SCU、SCP をサポートしていても、かりに画像処理装置が CT / MR 画像専用の場合、CR 画像という「オブジェクト」をサポートしていないので接続はできないことになる。

したがって、二つの「DICOM 対応装置」の間で画像送信を行う場合、それぞれが同じオブジェクトおよび同じ Storage Service Class をサポートし、送信側が SCU、受信側が SCP の役割を持っていなければ接続できないのである。「DICOM 対応装置」を考えると、どのオブジェクト、Service Class をサポートし、どのような役割 (SCU なのか SCP なのか) を持っているのかがたいへん重要である。

こうした重要な情報が記されている文書が、コンFORMANCE・STATEMENT

(Conformance Statement) であり、その記述方法などが記されているのが、DICOM 規格パート 2 (適合性) である。

基本的には、「DICOM 対応装置」にはすべてこの文書が付帯されることになっているので、二つの「DICOM 対応装置」間の接続性を検討するときは、それぞれの Conformance Statement を照合することから始めることとなる。

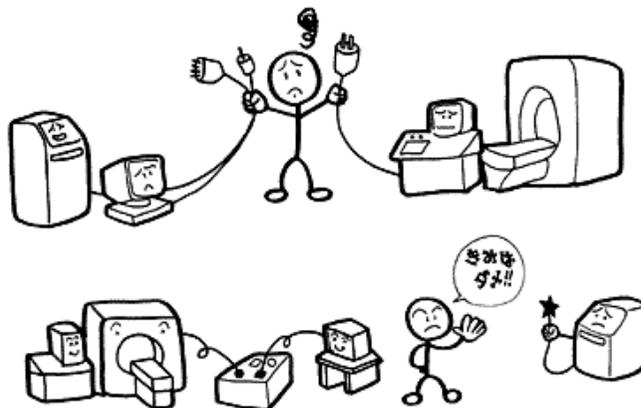
何年も前の話になるが、ビデオテープの記録方式で “ (ベータ)” 方式と “VHS” 方式が競い合っていた時期がある。

周知のとおり “VHS” 方式がスタンダードの地位を得て、いまどきビデオテープの購入時に記録方式を確認する人は皆無である。

現在、医療画像に関連する装置で DICOM に対応していない装置は消滅しつつある。

何年か先には、装置間の接続に関して誰も “DICOM” という “Word” さえ口にしなくなるだろう。

それほど、“DICOM” は当たり前のことになるからである。



標準規格がないと…

寄稿・投稿

## 合同コンペに参加して

横須賀共済病院  
石原 秀一

昨年 11 月 23 日、千葉県のコスモクラシックカントリークラブにて横浜南部地区技師会と合同のゴルフコンペが開催されました。横須賀三浦技師会からの検査技師の方も含め、6 組 24 名の参加がありました。早朝、集合場所である久里浜港フェリー乗り場で参加者と挨拶を交わし出航時間を待っていると、草柳会長が私事により遅れるというアクシデントが起こり先行き不安ではありましたが、30 分遅れの次の便に乗れ、なんとかスタート時間には間に合い事なきを得ました。

ゴルフコンペの楽しみは、プレーの楽しみと同時に、早朝のフェリーに乗り朝からお酒を飲みゴルフ談義に花を咲かせるというのが、フェリーに乗船するもう一つの醍醐味ではないかと思えます。そこで真っ先に話題になるのは天候なのですが、幸いなことに晴天、温暖、弱風というゴルフには絶好の条件に恵まれました。(良い天候が良いスコアになるとは限らないのですが・・・)

クラブハウスに到着し着替えを済ませ、全員集合の挨拶やルール説明などをし、おのこのコースへ向かい始球式が行われました。始球式はアウトコースが服部副会長、インコースは南部技師会の太田理事によりそれぞれ行われました。そして待ちに待ったプレーの開始となります。私はインコースの 1 組目のスタートであったため、皆さんの見ている前でのティーショットとなり、少々緊張しましたが無難にこなせ、そのホールはボギーとまずまずの出だしとなりました。後で聞いた話では、遅れたことに焦りを感じていた草柳会長はことごとくショットが乱れていたそうです。私自身はその後もまずまずのプレーができ、ホールアウトしてみるとベストスコアとなりました。

プレー後の一つの楽しみでもある懇親会で、その日のプレーについて語り合っていると成績表が配られ、私の名前が一番上にありました。上位には入れると思いましたが、まさか優勝できるとはおもいませんでした。これもメンバーやハンディキャップ、そして運にも恵まれたためだと思います。優勝トロフィーはとても大きく立派なもので、ここに最初に名前を刻めるのはとても光栄なことです。また副賞としていただいたパーカーは、南部技師会の方により作成されたロゴ入りで、とてもよい記念になりました。

第一回目の合同ゴルフコンペに優勝できて本当に嬉しいのと共に、朝、昼、夕とお酒を飲み、気持ちいい天気の中を歩きまわり、普段なかなか話す機会のない方と交流を持ち、私個人にとってはとてもすばらしい勤労感謝の日となりました。これからもこの会が毎年行われることを期待し、技師会の発展につながれば幸いに思います。



成績 1 位：石原秀一（横三）  
2 位：泉 和弥（南部）  
3 位：松田文雄（横三）

- 施設紹介 -

## パシフィックホスピタル

パシフィックホスピタルは、昭和56年2月に緑ヶ丘病院（平成13年11月に統合廃院）の分院として横須賀市野比に開設されました。

昨年11月に増改築工事も終わり本院の緑ヶ丘病院と統合し、新生パシフィックホスピタルとして再スタートを切ったばかりです。

現在当院は外来及び、一般、介護、療養型の各病棟を中心に訪問看護ステーション、デイケア、メディカルフィットネスからなり、外来は内科、神経内科、循環器科、小児科、整形外科、スポーツ外来があります。また健診、人間ドックもやっています。あっ、そういえば麻酔科？東洋医学？ペインクリニック？（うーん良く分からん）ていうのもあったような……。

駐車場完備（時間によっては無料）、送迎バスも出ています。

増改築に伴い放射線科では、1スライス4.5秒胸部単純で1時間ぐらいかかっていたCT（こいつ途中で休憩までとるから頭にくる）が東芝のAsteion（マルチディテクタじゃないけど）に、そしてX線TV系骨董品マニア（そんなやついるのか？）が見たら涙をながして喜びそうな古いアンダチュプのX線TV（個人的には好きだったんだけどなあ）がこれまた東芝のWinscope5000になり、その日その日で条件が変わってしまう不思議な一般撮影の装置もCR（FCR3500）導入と発生装置の調整によって改善されました。また新しいパソコンとOffice2000も入れてくれたので簡単な患者情報等のデータベースもつくってみました。その他インジェクタ（MEDRAD VISTRON CT）やらドライイメジャ（FM-DP L）やら入り部屋も広くきれいになり（以前はX線TV室が技師室も兼ねていたのでBEで逆噴射してしまった後その透視台の横で昼食をとるなんてことも……食事中の方すみません）職場環境としてはかなり改善され働きやすくなりました。眺望も最高です。

ちなみに当初、マンモとMRIも……なんていう話もありましたがそれは却下となりました。

放射線科としてはもう少し外来にがんばってもらって外来の検査を増やしたいと思っているのですがどうも知名度が低く（実は自分もここに病院があることを知らなかった。入り口が分かりにくいんだよなあ、交通の便も悪いし）、老人専用の施設というイメージも定着してしまっているためか外来をやっていることを知らない人が多い（救急隊の人ですら知らない）。



## 被ばく医療対策委員会報告

平成14年2月2日

被ばく医療検討会

平成13年10月25日（木）午前10時00分

- ・神奈川県・横須賀市合同原子力防災訓練
- ・オフサイトセンター立ち上げと情報伝達訓練
- 市民病院：宮村 横須賀共済病院：沼田・大石参加

平成13年11月15日（火）午後 7時30分 横須賀市医師会館

- ・被ばく医療フォーラムモジュールB開催の検討
- ・合同原子力防災訓練の反省

平成13年12月16日（日）午後10時00分 ヴェルク横須賀

- ・被ばく医療フォーラムB開催
- ・被ばく災害発生時のグループによる机上訓練施行

平成14年 1月10日（火）午後 7時30分 横須賀市医師会館

- ・被ばく医療フォーラムの反省
- ・被ばく医療マニュアルの作成について
- ・各職種における災害発生時の情報伝達経路の見直し

### 《今後の活動方針》

- ・被ばく災害時に行政機関、医療機関との情報伝達などが滞りなく行われるように、被ばく災害時のマニュアルを早急に作成する。
- ・当技師会の協力の強化と連絡網の整備を行う
- ・マニュアル作成後はマニュアルに乗っ取り訓練を行いたい

## 新役員紹介

始めまして三浦市立病院の加藤静です。

今回横須賀三浦放射線技師会の理事に推薦頂き、参加することとなりました。

自己紹介を書けと厳命を頂き、四苦八苦しながら、何とか書きました、どうぞ御読みください。

昭和47年11月2日生まれのさそり座のB型です。自分ではそうは思わないにですが、直情径行と人はいいます。学術担当に配属されましたが、最大のミスキャストではないかと思えます。

「学術」私の一番苦手で、不得手の部分です。しかし、準備の机運びや3K仕事は得意とするところ です。

一生懸命務めますのでご指導ください。どうぞよろしく。

## 地区委員会報告

宮村聖也

## 【1月地区委員会資料】

平成14年1月10日

12月理事会報告 平成13年12月20日(木) 18:30~21:00 於: 県技師会 504会議室

## 【報告事項】

## 1. 会長報告

- 1) 神奈川県公衆衛生協会理事会(11/27)
- 2) 自己研鑽研修会講師打ち合わせ(11/28)
- 3) 神奈川県放射線技術講習会(12/2)
- 4) 役員研修会・忘年会(12/3)
- 5) 埼玉県放射線技師会 50周年式典(12/9)

## 2. 各委員会報告

## 2-1 総務委員会

新入会員 2名(累計 74名)、退会会員 5名(27名)、会員数 1,541名  
 会費納入者 1,237名 約 82.7%

## 2-2 編集委員会

会誌 176号について、発行 1月28日(月)、原稿締め切り 12月20日(木)とする。

会誌発行予定	発行予定日	原稿締切日
177号	14年3月4日(月)	14年2月6日(水)
178号	14年5月1日(水)	
179号	14年7月29日(月)	
180号	14年9月24日(火)	

会員数の増加に伴い、発行部数を現在の1,650部から1,750部に変更

## 2-3 保健委員会

ボーリング大会について

14年1月26日(土) 15:00より 会費 5,000円  
 新横浜プリンスホテル JR 横浜線・横浜市営地下鉄新横浜駅下車  
 1月18日までに、各地区委員または事務所まで申し込み

## 2-4 学術委員会

県技術講習会について

参加者 午前 219名 午後 192名

次年度の事業計画案について

## 2-5 厚生・社会福祉委員会

少人数勤務技師の実態調査について

## 2-6 組織委員会

1月定例地区委員会を予定

## 【審議事項】

## 3-1 平成14年賀詞交歓会

1月17日(木) 18時30分よりホテル横浜ガーデン4階  
 会費 10,000円

## 3-2 神奈川県放射線技師会研修会

2月23日(土) 13時30分より茅ヶ崎市民文化会館にて  
 参加費 3,000円 定員 先着80名

## 3-3 胸部画像研修会

2/13~3/3のうち4日間 鶴見大学歯学部付属病院  
 参加費 13,500円 募集人員 20名

- 3-4 神奈川県保健医療計画
- 3-5 施設放射線安全測定研究会
- 3-6 平成14年度事業計画
- 3-7 平成14年度予算計画
- 3-8 その他

年末年始、12月26日より1月6日まで事務所はお休み

**連絡事項**

1. 地区助成金について  
各地区より申請のうえ助成金を交付いたしますので、未交付の地区は会員名簿と、地区活動報告を提出してください。なお、会費を納入した会員が交付対象となります。
2. 会誌177号について  
発行予定日 平成14年3月4日(月)  
原稿締め切り 平成14年2月6日(水)  
各地区の活動報告をお願いいたします。  
また、地区だより担当地区（横浜東部地区、鎌倉地区）は別途、地区だよりをお願いします。
3. 平成14年新春賀詞交歓会について  
日時 平成14年1月17日(木)  
会場 ホテル横浜ガーデン 4階 アイリス  
会費 10,000円
4. 技師会ボウリング大会について  
開催日 平成14年1月26日(土) 15:00集合  
場所 新横浜プリンスホテルボウリングセンター  
参加費 5,000円  
申し込みについては、各地区委員もしくは技師会事務所となっています。  
締め切りは、1月18日です。

**12月 新入会員 (2名)**

- 2339 荒川 安曇 萩野クリニック
- 2340 藤井 浩之 昭和大学横浜市北部病院

**退会会員 (5名)**

- 316 上杉 千秋 家事都合により
- 2013 堀 満美子 結婚退職により
- 365 小国 景一 定年退職のため
- 2177 秋葉 泰幸 行先不明
- 89 衣川 光一 病気のため

**転出会員 (0名)**

**転入会員 (0名)**

12月20日現在 1541名

## 平成 13 年度中間決算報告

## 一般会計

2002/1/29

## 収入の部

収入項目	平成 13 年度予算	中間決算額	未収金額
前年度繰越金	249,621	249,621	0
会費	254,000	248,000	6,000
賛助会費	522,000	642,000	-120,000
寄付	0	0	0
利息	100	185	-85
救急センター事業収入(1)	30,000	0	30,000
雑収入		940	-940
合計金額	1,055,721	1,140,746	-85,025

## 支出の部

支出項目	平成 13 年度予算	中間決算額	残金
会議費	190,000	76,686	113,314
学術費	120,000	120,000	0
広報費	120,000	120,000	0
福利厚生費	120,000	120,000	0
庶務費	180,000	77,048	102,952
渉外費	50,000	53,658	-3,658
YMBIT 助成金	60,000	60,000	0
名簿作成費	100,000	53,500	46,500
補修費	40,000	36,403	3,597
慶弔金	50,000	39,394	10,606
予備費	25,721	0	25,721
雑費			0
合計	1,055,721	756,689	299,032

## 積立金会計

2002/1/29

## 収入の部

収入項目	平成 13 年度予算	中間決算額	未収金額
前年度繰越金	996,512	996,512	0
県技師会助成金	15,000	15,800	-800
積立金利息	250	415	-165
救急センター事業費(2)	200,000	0	200,000
合計金額	1,211,762	1,012,727	199,035

## 平成 13 年度活動報告

### 庶務

平成 13 年第 1 回理事会 4 / 20

3月24日 横須賀共済病院講堂にて総会開催出席35名、懇親会54名(賛助会員17社) 県会長、南部地区会長出席

4月02日 三浦市立病院佐々木氏より退会届が届いた(平成13年3月31日で退会)

4月03日 4月20日理事会開催案内送付

4月04日 三浦市立病院田中耕策氏衣笠病院院長谷繁氏、2名新入会受理

4月10日 油壺エデンの園後藤實夫氏、横須賀クリニック石川剛夫氏2名新入会受理

4月13日 衣笠病院にて三役会開催、会長、両副会長、庶務2名出席

4月20日 横須賀共済病院会議室にて平成13年度第1回理事会開催

平成 13 年第 2 回理事会 7 / 13

4月25日 小泉純一郎氏首相就任の祝電をだした

5月11日 横須賀市立市民市民病院畠山徹氏入会

5月16日 横須賀市保健所所長宛に ICRP 90年勧告にともなう法改正についての講演依頼を送付

5月17日 第1回救急センター会議横須賀共済病院会議室にて18:30よ

### り開催

5月18日 横須賀市保健所井上晴行氏入会

5月25日 横須賀市保健所所長宛に第一研修室使用願いを送付

5月31日 新倉会長県技師会主催拡大会議出席

6月12日 福利厚生主催7月8日開催第5回 GOLF 大会案内を賛助会員23社に送付

6月21日 第88回研究会案内を会員賛助会員に送付

6月27日 会員名簿一部会員と賛助会員に送付

7月05日 衣笠病院にて三役会開催6名出席

7月08日 千葉コスモクラシッククラブにて第5回 GOLF 大会開催5組20名参加、優勝者横須賀共済病院松田氏、オープンコンペが開催されていて衣笠病院千葉氏が優勝(オープンコンペに150数名参加)

7月13日 横須賀共済病院会議室にて平成13年度第2回理事会開催

平成 13 年第 3 回理事会 10 / 19

7月17日 第79号会報を会員、賛助会員、横浜南部地区技師会、県技師会事務所に送付

7月25日 横浜市南部技師会、勉強会・納涼会案内会員に送付(会場横浜市済生会南部病院)

- 8月01日 横三技理事委嘱26号を三浦市立病院加藤静氏学術担当お願いの委嘱状を送付
- 8月04日 横浜南部地区勉強会・納涼会に清酒2本届けた
- 8月23日 第2回救急センター会議横須賀共済病院会議室にて18:30より開催
- 8月25日 湘南病院三堀光雄氏実父の訃報連絡と弔電をだした
- 8月27日 地区委員宮村氏(市民病院)に三堀光雄氏実父訃報連絡と住所、氏名をFAXにて送付(県技師会規定より)
- 9月10日 2002年度横須賀市救急医療センター予算申請書を会長名で横須賀市長宛に提出
- 9月11日 第3回理事会案内を理事宛に送付
- 9月13日 結核予防協会神奈川支部渡辺亨夫氏長期療養見舞金をだした
- 9月18日 福利厚生主催第2回釣り大会案内、会員、賛助会員に送付、日時は10月21日(日)、集合7:00京急久里浜駅改札口、出船8:00
- 10月05日 三役会を衣笠病院会議室にて開催6名出席
- 10月11日 新倉会長宛に、川崎市放射線技師会創立50周年式典の案内が届いた
- 10月19日 横須賀共済病院会議室にて第3回理事会開催
- 平成13年第4回理事会 2/2
- 10月28日 第80号会報を会員、賛助会員、横浜南部地区技師会、県技師会事務所に送付
- 10月30日 総理大臣小泉様実母逝去に伴い弔電を事務所宛に出した
- 10月30日 11月17日開催第89回研究会案内を会員、賛助会員宛に送付
- 11月09日 結核予防会神奈川支部勤務の渡辺亨夫氏本人の訃報連絡を連絡網にて連絡と弔電を出した。会長が川崎放射線技師会50周年出席のため千葉副会長に弔問をお願いした。給付額は規定どおり10,000円
- 11月17日 第89回研究会を横須賀共済病院講堂にて開催
- 11月10日 新倉会長が川崎放射線技師会50周年式典に出席。
- 11月13日 横須賀市消防局長から技師会長宛に10月25日の平成13年度県・市合同原子力防災訓練において、ご協力の礼状が届いた。
- 11月16日 12月16日開催、横須賀医師会主催、緊急医療被ばく「神奈川・よこすかフォーラム」モジュールBの参加案内を会員に送付
- 12月08日 2002年1月19日開催南部合同勉強会案内と2002年1月12日開催ボーリング大会案内を会員・賛助会員に送付
- 12月18日 2002年2月2日開催第4回理事会・新年会の案内を理事宛に送付賛助会員に新年会開催の案内

も同時に送付

2002年

- 1月14日 横須賀北部共済病院、生方昌宏氏、神奈川歯科大、弘金規正氏の両名に選挙管理委員をお願いした。
- 1月15日 新年度役員立候補の詳細文、案内を複数会員のいる施設に送付衣笠病院、横須賀市民病院、横浜南共済病院、横須賀北部共済病院三浦市民病院、神奈川歯科大、湘南病院、横須賀保健所、ヨゼフ病院、パシフィックホスピタル、自衛隊横須賀病院、逗葉地域医療センター、浦賀病院 以上送付
- 1月18日 パシフィックホスピタル斎藤正義氏が救急センターに協力の意思があり、承諾書等の資料を送付、救急医療従事者規定は満たしている
- 1月19日 第13回横須賀三浦、横浜南部合同勉強会を横須賀北部共済病院にて開催、横須賀三浦地区34名出席、南部地区23名出席、賛助会員29名出席、総計86名、懇親会71名出席
- 1月26日 名誉会員の米倉徳平先生の訃報連絡をした  
(県技師会に入会していませんので地区委員には連絡せず)
- 2月02日 横須賀共済病院会議室にて第4回理事会開催、新年会開催、賛助会員24名新年会出席(新年会A棟10階レストランにて開催)
- 2月07日 3月9日開催総会案内を会員・賛助会員に送付

保健所所長、大森治郎氏、横浜南部地区会長草柳伸彦氏  
県会長中村豊氏、それぞれ総会開催案内を送付

学 術

平成13年7月21日(土)

第88回研究会開催

15:00~

於: ウェルシティ横須賀3F 第一研修室

参加者: 57名 会員27名

プログラム:

1. <横須賀市保健所施設見学>

15:00~15:30

2. <賛助会員発表> 15:40~16:20

マルチスライスCTの最新技術

GE横河メディカルシステム(株)

CT営業部 木村 克美

マルチスライスCTの現状と今後の展望について

シーメンス旭メディック(株)

プロダクトプロモーショングループ

北野浩一

3. <教育講演1> 16:35~17:00

医療法の改正について

横須賀市保健所 阿部 仁

4. <教育講演2> 17:00~17:30

胃・十二指腸潰瘍に影響する「今話題のピロリ菌」(尿素呼気試験について)

横須賀共済病院中央検査科 都丸克浩

平成13年7月21日(土)

研究会後の3部合同納涼会への協賛

平成13年11月17日(土)

第89回研究会開催

15:00~

衣笠病院本館2階管理棟講堂

参加者:34名 会員:23名

プログラム:

1. <衣笠病院施設見学> 15:00~

2. <賛助会員発表> 15:30~

「最新MRIの動向」

フィリップスメディカルシステムズ

営業部営業技術課 坂元 哲郎

「DRについて」

株式会社日立メディコ

国内営業本部放射線機器営業部

主任技師 小田 和幸

3. <会員発表>

「えっ!衣笠病院にPACSが?」

衣笠病院放射線科 大島 俊直

「患者の苦痛を緩和する為の放射線治療固定

具の工夫 ~当院の放射線治療器具~」

横須賀共済病院放射線科 二田 勇

平成14年1月19日(土)

第13回横須賀三浦地区横浜南部地区合同勉強  
会開催

15:00~ 横須賀北部共済病院1号館(外  
来棟)4階会議室

参加者:86名 会員57名

うち当地区会員34名(南共済5名含む)

プログラム:

「DRの使用経験」

横須賀共済病院 桜庭真美

「法令改正の影響 - 2001年リニアック更新

-」

済生会横浜市南部病院 金子理恵

「IVRにおける患者・術者被曝と低減対策」

衣笠病院 田中裕樹

「シリンジ式造影剤用自動インジェクターの  
試作」

横須賀共済病院 沼田恭一

「コニカCRの使用経験 - 従来システムとの  
比較 - 」

横浜栄共済病院 保田英志

懇親会

以上

小柳 武(横須賀市立市民病院)

松村高宏(衣笠病院)

加藤 静(三浦市立病院)

濱田順爾(横須賀北部共済病院)

福利厚生

1) 2001.7.8 第5回GOLF大会

「コスモクラシック」5組20名参加

2) 2001.7.21 三部合同納涼大会

横須賀大滝町「海彦」46名参加

3) 2001.10.21 第2回釣り大会

「がわはぎ」を対象魚とし18名参加

4) 2002.1.12 ボウリング大会・懇親会

「プランズウィックスポルト横須賀」

ボーリング27名・懇親会23名参加

以上のような福利厚生事業を開催してまいり  
ましたが、会員・賛助会員の皆様にはご満足頂  
けましたでしょうか。

我々福利厚生部は、普段から会員・賛助会員  
の数少ない接点を増やして行きたいと考え、平  
成12年度と同様な企画ではありましたが実施

してまいりました。今年度の参加人数は例年通りでしたが、若い会員の方々の参加が多かったように思います。

昨年度は会員・賛助会員の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しましたが、今後は倫理規程に添った新たな企画を考え実施するよう考えております。

新企画等ありましたら福利厚生部までご一報下さい検討したいと思います。

今年度の目標に、地域の社会福祉事業に寄付を行うことを考え理事会の承認も得ておりましたが、事業収益や寄付により小額ではありますが(社)横須賀市社会福祉協議会に寄付をする事になりました。これも会員・賛助会員の皆さまのご協力があったのことに感謝いたしております。

福利厚生事業も総会後の懇親会を残すのみとなり、反省する部分も多々ありますがありがとうございました。

福利厚生部 大石・狩野・斉藤(文責)



### 平成 13 年福利厚生部

#### チャリティ事業収支

今年度の目標に、地域の社会福祉事業に寄付を行うことを考へ、年間を通じ横須賀三浦放射線技師会の事業に対しチャリティ活動を行ってきました。  
理事会の承認も得ており、小額ではありますがここに収支の報告をいたします。これも会員・賛助会員の皆さまのご協力があったのことに感謝いたしております。

チャリティ	GOLF大会 2001.07.08	納涼大会 2次会 2001.07.21	合同研究 2次会 2002.01.12	社会福祉法人に寄付の予定 横須賀市社会福祉協議会
	18,500	13,250	10,000	合計 41,750
2002.02.07	(社)横須賀市社会福祉協議会			残金 0

謹 啓

貴下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、この度は当社会福祉協議会にご寄付を賜り厚くお礼申し上げます。  
ご承知のように、社会福祉事業の推進につきまして、地域社会の福かいで協力に負うところが非常に多いであります。  
ご寄付いただいた 41,750 円 はご主旨にそい本民間社会福祉事業のため役立させていただく所存であります。  
まずは、書状をもってお礼申し上げます。

敬 具

平成 13 年 2 月 7 日

横須賀三浦  
放射線技師会  
会長 新名政和

横須賀市本町2-1  
社会福祉  
法人 横須賀市社会福祉協議会  
会長 内野十三郎

領 収 書 第 74

横須賀三浦  
放射線技師会 様

額 41,750

但し 福祉銀行基金として  
上記の金額を領収いたしました

(所得税法第78条第2項第3号該当  
法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

平成 13 年 2 月 7 日

横須賀市本町2丁目1番地  
社会福祉  
法人 横須賀市社会福祉協議会  
会長 内野十三郎

## YMBIT

日付	項目	内容	備考
平成13年04月12日	メール	一般市民から質問メールが2通届いた	「被ばく」と「技師の仕事について」服部副会長YMBIT顧問に相談。
平成13年05月01日	更新	理事役員紹介 年間活動予定表	(第1回理事会から)
	更新	リンク集	・(社)栃木県放射線技師会 ・(社)滋賀県放射線技師会 ・(社)香川県放射線技師会 ・(社)京都府放射線技師会 上記4技師会とも当技師会ホームページへの相互リンクの依頼がありました
	更新	リンク集	・厚生省 厚生労働省 ・科学技術庁 文部科学省
平成13年05月07日	購入	ホームページ作成ソフトを購入	14「ホームページNinja」
平成13年05月18日	メール	質問メールの返信	技師会としての回答を送信
平成13年06月01日	更新	ホームページを更新	会報バックナンバーを新設
	新設	i-mode版を新設	
平成13年06月12日	更新	お知らせコーナー	第88回研究会、オープンゴルフ大会
平成13年06月27日	新設	よこすかわくわく情報コーナーを新設	
平成13年06月29日	新設	被ばく災害派遣チームのコーナーを新設	
平成13年07月05日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
	更新	掲示板	不調のため再登録、更新
平成13年07月06日	メール	よこすかわくわくメール転載の許可を観光課より受け取る	
平成13年07月10日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年07月12日	会報	会報No.79にパソコン実態調査の結果を掲載	
		会報No.79にホームページリニューアルとi-mode版新設のお知らせを掲載	
平成13年07月13日	更新	会報バックナンバー	No.79を追加
平成13年07月15日	更新	お知らせコーナー	三部合同納涼会
平成13年07月17日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年07月24日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年09月29日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年11月01日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年11月09日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年11月20日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年11月23日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年12月01日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年12月12日	会議	笠井、大河原、服部、大藤、松井、濱田、三條、高久	
平成13年12月12日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年12月25日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成13年12月28日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年01月03日	更新	お知らせコーナー	合同勉強会
平成14年01月05日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年01月06日	更新	リンク集	湘南病院
平成14年01月12日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	

日付	項目	内容	備考
平成14年01月18日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年01月23日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年02月02日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年02月02日	更新	よこすかわくわく情報コーナー更新	
平成14年02月02日	更新	お知らせコーナー	総会開催日

ホームページアクセス数

- ・平成13年 7月13日午前 1 時 1 0 分現在のアクセス数 2 4 1 0 件
- ・平成13年10月19日午前 0 時 4 5 分現在のアクセス数 2 8 6 0 件
- ・平成14年02月02日午前 1 時 2 5 分現在のアクセス数 3 5 5 7 件
- ・平成14年02月27日午前 0 時 3 2 分現在のアクセス数 3 6 9 4 件

(1日約 5 件)

メニュー

- ・会員へのお知らせ
- ・会長あいさつ
- ・技師会のご案内
- ・理事役員紹介
- ・年間活動予定
- ・掲示板
- ・リンク集
- ・会報バックナンバー
- ・YMBITのご紹介
- ・入会案内
- ・よこすかわくわく情報
- ・被ばく災害派遣チーム



リンク集

- ・放射線技師会（各県技師会等） 3 2 件
- ・教育関係（学位授与機構等） 2 件
- ・技師学校 2 件
- ・関係省庁等 5 件
- ・横須賀（医療機関等） 5 件
- ・横須賀（観光） 2 件



リンク希望やデジカメ画像等の投稿大歓迎です！

平成 14 年度役員立候補について

横須賀三浦放射線技師会役員選挙管理委員会

横須賀三浦放射線技師会規約 7 条に基づき平成 14 年度役員選挙の改選を行います。改選にあたり広く役員の立候補を募ります。

改選する役職名	横須賀三浦放射線技師会会長	1 名
	” 副会長	2 名
	” 理事	若干名
	” 会計監査	2 名

○選挙管理委員会の設立

選挙管理委員 2 名を下記の通りとする

横須賀北部共済病院 生方昌弘 (0468-61-3161)

神奈川歯科大学病院 弘金規正 (0468-25-1500)

○立候補の受付および締め切り

受付開始平成 14 年 1 月 21 日より締め切り平成 14 年 2 月 28 日 17 : 00 まで

○立候補の方法

役職に立候補する方はその趣旨を添えて横須賀三浦放射線事務局 (横須賀共済病院内中央放射線科、電話 22 - 2710 内線 2323) または、選挙管理委員に上記期間内に文面、または、口頭で届け出る。

立候補したものは平成 13 年度本総会において承認を得る。

平成 13 年度横須賀三浦放射線技師会総会

平成 14 年 3 月 9 日 (土) 午後 3 時より

横須賀共済病院 5 階講堂

平成 14 年 1 月

## 総会開催ご案内

会員の皆様へ、平成 13 年度総会を下記の通り開催致します。尚、今年度は役員選挙の年であり、多数の会員の参加とご意見をお願い致します。

総会終了後懇親会を行います。懇親会の参加も宜しくお願い致します。

### 記

平成 14 年 3 月 9 日 (土)

15:00 開催

場所 横須賀共済病院 5 階講堂

懇親会会場 5 階講堂

会費 2,000 円

準備の都合上早めに出欠をお知らせください。

懇親会出席申込された方は、当日欠席されても懇親会費は徴収させていただきますので悪しからずご了承ください。

当日来年度分の会費納入を受付します。

<p>平成十三年度横須賀三浦放射線技師会総会 式次第</p>	
司会	(二田理事)
一、開会の言葉	(千葉副会長)
一、会長挨拶	(新倉会長)
一、祝辞	
一、議長団選出	
議事	平成十三年度経過報告
〔庶務〕	(二田理事)
〔学術〕	(小柳理事)
〔広報〕	(柳沢理事)
〔福利厚生〕	(大石理事)
〔救急医療〕	(松井理事)
〔Y M B I T〕	(高久理事)
一、平成十三年度一般会計報告	(坂詰理事)
一、平成十三年度救急センター会計報告	(大藤理事)
一、平成十三年度会計監査報告	(安藤理事)
一、地区委員報告	(宮村理事)
一、役員選挙	( )
一、平成十四年度事業計画案	(新会長)
一、平成十四年度一般会計予算案	(坂詰理事)
一、平成十四年度センター予算案	(大藤理事)
一、その他	
一、議長団解任	
一、閉会の言葉	(服部副会長)

YMBIT offline

# 横須賀三浦放射線技師会

## ホームページ リニューアル OPEN!!

デザイナー新! 新コーナーもできますます便利に!



- ・行事がわかる「年間活動予定表」
- ・全国ほとんどの技師会と相互リンクでさらに充実の「リンク集」
- ・横須賀の観光情報はこれでバッチリ「よこすかわくわく情報」(横須賀市観光課公認)
  - ・これはスゴイ「会報バックナンバー」
  - ・なんと!時代の先端!「iモード版」もあるのだ!

ホームページアドレス

<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/index.html>

メールアドレス

[ymbit@internet.email.ne.jp](mailto:ymbit@internet.email.ne.jp)

iモード版アドレス

<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/i/index.html>

YMBITでは、皆さんに楽しんで利用していただけるホームページをめざしています。

皆さんからのご意見、ご希望、投稿をお待ちしています!

## 編集後記

横須賀市立市民病院 柳沢 正和

『情けは、人のためならず』とはどういう意味ですか？の問いに対し、情けは 人の為にならない（人に情けを掛けてはならない）と考える人が大半を占めるようになったそうです。

40後半以降の人は、人に情けをかけるのは、人のためではなく廻り廻って自分が困ったときに人から助けられる事もありますよ。（自分のためですよ）と教えられた。では、次の問題を解いてください。

先（立）つ（不幸）をお許しください。の括弧の中を正しい漢字にしてください？間違っているわけではありません。本来の意味になるよう訂正してください。ヒント昔は、親の権威は強かった。

古き良き日本は終わりつつある？欧米人には負けたくないと思ったら、Thank youに対し My pleasure（私の喜びです。喜んでしたことですから）と来た上記の諺も欧米の方が理解できるかもしれない。

横須賀三浦放射線技師会報

Vol.25No.3 通算 81 号

2002 年 2 月 発行

編集/発行 広 報

印刷/製本 (株)エルクコーポレーション

広報担当 横須賀市民病院 柳沢 正和

須藤 敏

高橋 宏之

高久 博樹

衣笠病院 神田 真世